

「丘の上にある教会」(2018. 12. 16)

「あなたがたは世の光である。

山の上にある町は、隠れることができない。」(マタイ 5:14)

10月下旬から教会の東側に隣接する民家を取り壊され、樹木も伐採され、更地になった。来春から横手病院の駐車場になるという。そのため、これまで隠れていた会堂全体が城南高校グラウンドや横手公園などの東方向から丸見えになり、近隣の方々の目をも引き付けている。

12月に入ると、坂道に手すりが設置された。23メートルの坂道をこれまでよりは安心して昇り降りできる。以前から要望があったようだが、この度、長老会でこれを取り上げ、協議し、設置を決議した。皆さんの賛同を得られるものと確信している。

今、夕方5時前後になると、教会の坂道はカラフルなイルミネーションで輝く。手すりに巻きつけたLEDの電飾である。23メートルの輝きは横手公園の上からもはっきり見えて、横手の街に教会の光が浮かび上がり、横手の街には教会があるんだ、との印象を強くアピールしている。



上掲のみ言葉が心に響いてきた。まさに横手教会は丘の上にある。隠れることができない。み言葉と賛美、祈りと祝福が響き亘るのである。それゆえ、私たちは横手の光である。主の光を受けて横手の人々を照らすのである。横手教会が百余年、この街の祝福を祈り、キリストの恵みを宣べ伝えてきたこの営みを改めて受け止め、前に進めたい。

このような中で、今月23日にはクリスマス礼拝、24日にはイブ礼拝が捧げられる。クリスマス礼拝では、メッセージ、聖餐式、T姉の転入会式が行われる。その後祝会、キャロリングが予定されている。イブ礼拝ではキャンドルの光の中、メッセージと賛美が、特に横手市出身の成田徹氏と奥様の良子氏によるサクソとピアノの特別演奏が捧げられる。その後茶話会が予定されている。

丘の上にある教会として、この知らせを周知するため、色々な試みをしてきた。新聞折込、チラシ配布、横手かまくらFM、看板、HPなど。しかし、何といたっても教会員お一人おひとりが祈りを込めて家族や友人をお誘いすることである。「あなたがたは世の光、横手の光である」との主のみ言葉を喜んで受け止め、勇気をもって踏み出してほしい。

変わる事のない主の豊かな祝福が、今、注がれています！